

第1期 小郡寺子屋「志学舎」報告書【第5講座】

開催日 2022年7月23日（土）

- 時 間 9:30～16:30
- 場 所 小郡市生涯学習センター（小郡市大板井）
- 参加者

■第1期生15名（欠席1名）

■木村 貴志 塾長 / 森 就子（事務局） / 井上 和樹（事務局） / 西江 幸子（事務局）



● 内 容 第2回経営者講話・座学

9:30～10:50 10原則朗唱、第4講座の振り返り、「国際社会を生き抜くために」

11:00～12:00 第2回 経営者講話 麻生セメント株式会社代表取締役会長 麻生泰 様

12:00～13:00 昼食（お弁当）

13:00～14:00 経営者講話の振り返り&レポート作成

14:10～16:00 座学（ハウステンボスの設計思想と展開）

16:00～16:30 萩合宿に向けての事前研修



■第4講座の振り返り（塾生レポート「I-PEX様を訪問して思ったこと」を読んで）

【塾生感想】

- ・自分の経験、感じたことを取り上げていた。参考にしたい。
- ・自分の気持ちや感謝を書くことを取り入れたい。
- ・企業訪問前と訪問後の考えを比較して、新たな思いが生まれることが分かった。

■レポートの書き方について

1. たくさんメモを取り集中して聴く
2. 自分が「感じたこと・気づいたこと・考えたこと」をたくさん書く
3. 量から質が生まれる
4. ロジックツリーを使って書く
5. 具体的に
6. 読みやすく丁寧な字で
7. 手を抜いたレポートには特徴がある
8. 引用よりも、自身の思ったことが相手の心に届く
9. 自分で書くことが成長につながる
10. 書いた後に必ず見直しをする

■国際社会を生き抜くために～安田信さん（安田信事務所社長）の記事を読んで

「日本人はどう見られているか。グローバル化を果たすなら、これから日本人一人一人が世界に通用するためのプリンス（原則）を理解し、国際社会で個人としても生きるという覚悟が必要だ。」

「これからの子ども教育。国際社会にも生き、個人として認められるには、子どもの教育から抜本的に見直す必要がある。子どもの時こそ甘やかせず、厳しく人間として大事なプリンス（原則）を学び、身に付けることが重要だ」

【塾生感想】

- ・「日本人はリーダーシップがない」「意思決定が遅い」など、自分も当てはまる。直したい。
- ・安田信さんが、「日本教育がこのままではだめだ」と行動するのがすごい。
- ・社会ではまとまって行動するだけでなく、個人で行動することも大事だと思った。
- ・「少年教育10原則」が、日本をよくするための「10原則」だと知った。

○3つの力（体力、語学力、魅力）をつける

- ・「体力」20代～30代までは体力をつけてほしい。
いま75歳だが、元気なのは若いうちに体を鍛えていたから。
スポーツでチームワークを作ることも学ぶ。
- ・「語学力」（英語プラスワンとIT力）全世界の人口は79億人、
そのうち日本の人口は1億2千万人。日本語は地球上の2%弱の
人しか話せない。残り98%の人とコミュニケーションを取るため
には、語学力が必要。
- ・「魅力」何かに強いという強みを持つこと。スポーツ、音楽などもあるが、一番は、信頼されること。
大切なのは思いやりの「心」。



○感謝の気持ちを持つ

私たちは、多くの恵みをいただいている。家族からの思いやりに気づくこと。学ぶ場、今があるのは幸せなこと。1940年代は戦争があった。2022年、この平和な日本に生きていること、恵まれている人は恵まれている人なりの役割がある。それにどう応えるのか。恵みに対しての責任がある

○目標をもつ

5年後、10年後をどう描くか。人生は一度きり。一日24時間は、すべて等しい。やりたいことよりやるべきことをやる。私はどちらかというと「亀タイプ」であり、コツコツ努力していく能力があると思っている。

いま75歳。5年後、10年後の夢がある。夢は、生まれ育ったまち「飯塚」をよくしたい。とんがった「まち」にしたい。日本全体が、30年間、経済成長が横ばいなのは、現役の責任だと思う。そんな中で、みんなにチャンスを与えて、視野を広げていくような機会を与えていきたい。塾生の皆さんは、寺子屋を通して、新しいテーマを見つけていってほしい。

【質疑応答】

質問：感謝の気持ちを持つ。「お返しをする」が大事な気持ちだと思った

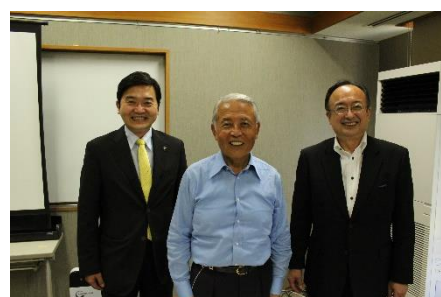
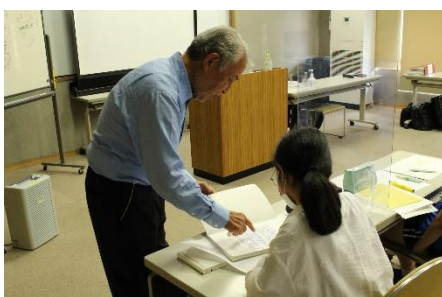
回答：「お返しをする」の考え方は、できない理由を言うのではなくどうこたえていくかが大事。

質問：今後、力を入れていきたい分野はありますか

回答：国内に病院が8,500あり、1,350が公立・残りが民。この公立病院のマネジメントが悪く、赤字補填のため約8,000億円の補助金がある。目標は、8,000億円の無駄をなくし、病院の明るさ・満足度を上げて離職率をへらすこと。

【塾生感想】

- ・麻生会長が考えた生きていく上で重要な三つの力（体力、語学力、魅力）の話がとても印象に残った。
- ・何年も日記を続けて書いていて、154冊あるということを聞き、自分も習慣づけたいと思った。
- ・麻生会長が経営している病院の働く環境がrippadaと思った。自分もそういうところで働きたい。
- ・九州に住んでいる自分たちは特に恵まれているということがわかった。感謝の気持ちを忘れず、お返しをするという気持ちを持ちたい。



■ハウステンボスの設計思想と展開（池田武邦）

ハウステンボス（長崎県佐世保市）…外観：オランダ、設計：江戸

エコロジーとエコノミーの調和（環境と経済のバランス）に挑戦し続ける未来都市・循環型の社会

草木も生えない荒れた土地を生まれ変わらせる、生きた土地づくりへの挑戦。投資と土壌改良。

○水の循環 ・淡水化プラント・園内の水の半分を施設内で賄う。

○ライト ・エネルギーの供給は、独自のエネルギーシステムを利用（電力会社の売電、自家発電…1/3 を賄う）

○ごみ問題 ・生ごみ（全体の 1/2）は、コンポストで樹木堆肥に変える。リサイクル率 29%→62%へ

■萩合宿に向けての事前研修

8月17日（水）～20日（土）に実施する第6講座 萩合宿について、グループ分けや役割分担、合宿に向けての心構えなどの研修を行った。